

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	服部 孝也
主な担当科目	
2024年の教育目標・授業に臨む姿勢	学生たちが生き生きとした充実した学生生活を送れるよう親身になってサポートをする。またそれぞれの力に合った指導、活躍の機会を与え、自信を持って持続的に学べる環境を整えたい。実技、授業を通じてより良いコミュニケーションを図り、それぞれに寄り添った指導、教育をすることを目標とする。
2024年の教育に関する自己評価	本人の努力の結果だとは思いますが、少しずつ成果が表れてきている学生も見られる。まだ成果として表れてこない学生も見受けられるが、本人たちの意識が少しでも変わるよう指導してきている。今後きっとそれぞれに成果が表れてくるだろうことを期待し見守りたい。
2024年のFD活動に関する自己評価	FD研修会での先生方の講話をお聞きし、大学としての取り組み、方向性、ビジョンについて、知ることが出来ました。また先生方とのグループディスカッションでも先生方の現場でのお話や取り組みについても様々なお話、ご意見を伺い、自分の取り組みについても積極的に発言した。来年度から、新たに導入されるセメスター制について、それぞれの分科会での意見交換に参加した。
授業改善のために取り入れた研修内容	FD研修会での先生方のお話をお聞きし、授業内での取り組み、工夫をされていることを知りました。私としても学生との接し方、学生の話、考えをよく汲み取り、より良いコミュニケーションが取れるようにしてきました。また、ジェンダーレスについても心がけるようにしてきました。来年度からのセメスター制導入を念頭に置いて、新年度スムーズに移行できるよう過ごしてきた。

2024 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:2409 教員名:服部 孝也

1) アンケート結果に対する所見

「室内楽特別演習①②」について。大学院生への授業となる。アンケート結果は一定の満足度は得られているものと考えられる。その一方で、シラバスの内容に基づいてあまり行われていないとの結果もあり、少し改善が必要と考えられる。

2) 要望への対応・改善方策

シラバスを今一度よく確認し、その内容に基づいた授業を行うようにし、さらに満足度が向上するよう努めていきたい。

3) 今後の課題

授業の進捗状況によりやむを得ずシラバス通りに進まないこともある。学生にとってより学びやすい最善の内容、そしてより満足度の得られる授業となるようシラバスの再考が必要と考えられる。

以 上